

教育長の再任にさいしての抱負は

理想の中学校をつくるために、 6つのビジョンを策定した



中山 孝 議員

質問 教育の理念はなに

が。

答弁 個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神をたつとび、豊かな人間性と創造性をそなえた人間の育成です。

質問 再任にさいしての抱負は。

答弁 重責をはたすためには、途中で投げ出さないことです。

質問 教育長のビジョンは。

答弁 よかつたと思われる理想の中学校を実現したい。

そのため具体的には

・勉強に打ち込む態勢づくりを。なにかの集団

・所属すること。ホーム担当と教科担

- ・当の先生をおくる体制。活動が生きることであります。
- ・道徳教育、心の教育を。郷土の文化を継承すること。
- ・ハンデを負う子に特別支援を。

- ・教職員が活気・活力あること、チームワークよく仕事をすることです。

- ・ハンデを負う子に特別支援を。

- ・教職員が活気・活力あること、チームワークよく仕事をすることです。

○その他の質問事項

- ・新型インフルエンザ対策
- ・平岡・鳥帽子住宅団地の除間伐

について



紅林荘隣に建設中の「グループホームやまゆり」



小林市子 議員

今後の介護施設の建設計画は

素案では1.3倍の増床を見込む

現在、平成21年から始まる第4期介護計画策定が進められており、素案では、介護保険制度改正の方向性、介護認定率、需要率を勘案しながら、現在の1.3倍の増床計画を見込んでいます。

現在当町には、65歳以上の人々が4,400人暮らしており、今後介護が必要とする町民は増える見通しで、グループホームやサロンのような支え

あつ施設がますます必要になつてくると考えます。また、介護認定を受けている人のうち認知症の人は、台帳登録上35人ですが、実際には、200人前後いると推定されます。

平成21年には、高齢病院による施設が、1ユニット定員9人で開所しますが、地域福祉のあり方を考えるとき、住民の理解と福祉医療法人との連携が必要と考えます。

質問

要介護者の入所（入院）できる介護施設不足への対応と、今後の建設計画は。

また、支えあいの居場所づくりの立ち上げ、支援は。

質問

介護保険制度が創設され、8年が経過しています。平成19年度末の当町における介護認定者は670人で、町内では155人が介護施設に入所、入所待機者は67人です。

その他の人々は、居宅介護サービス・デイサービス・給食サービスを受けているのが現状です。

質問

このため具体的には

・勉強に打ち込む態勢づくりを。なにかの集団

・所属すること。ホーム担当と教科担

○その他の質問事項

・観光施設貸付事業特別会計について